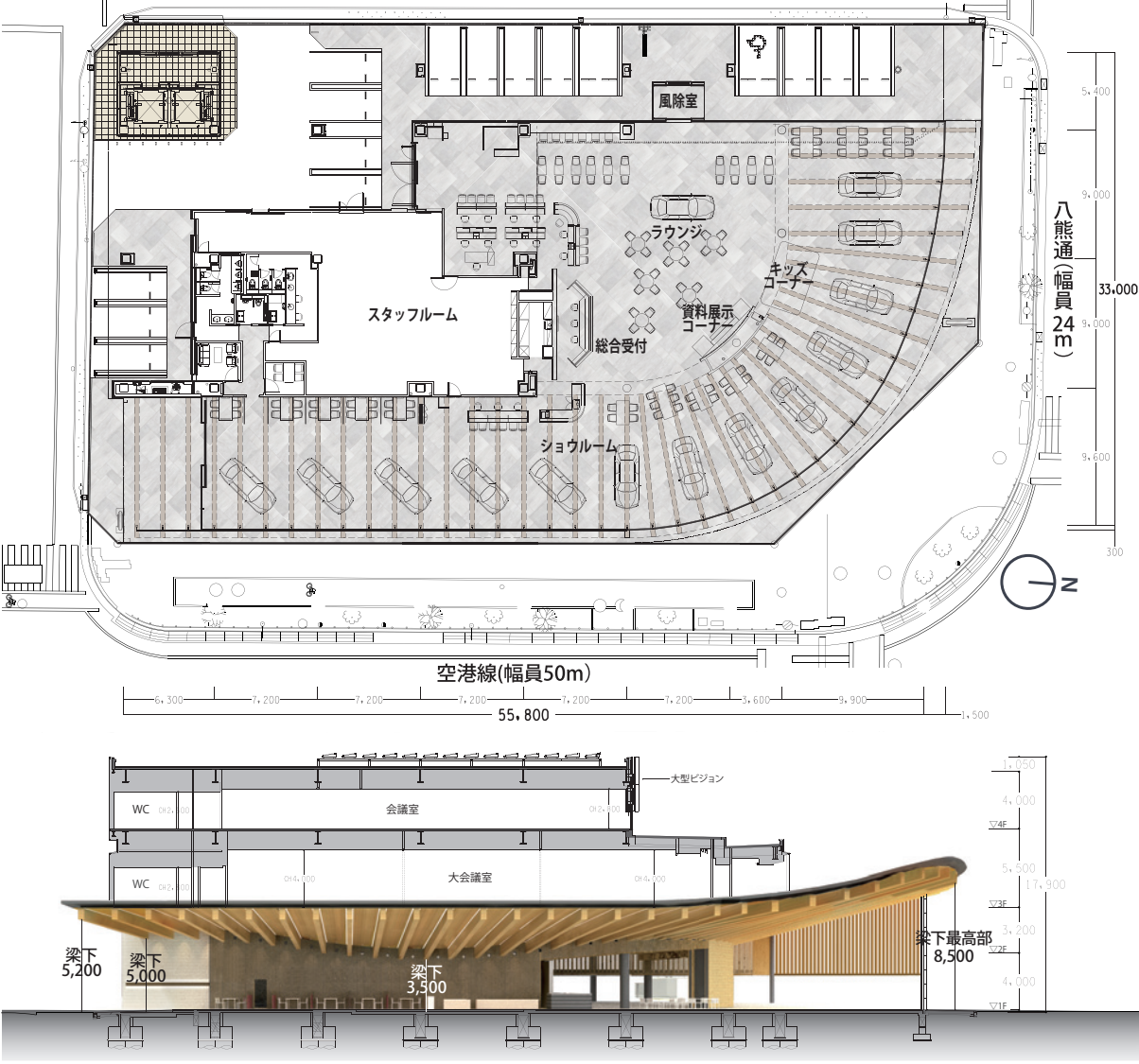


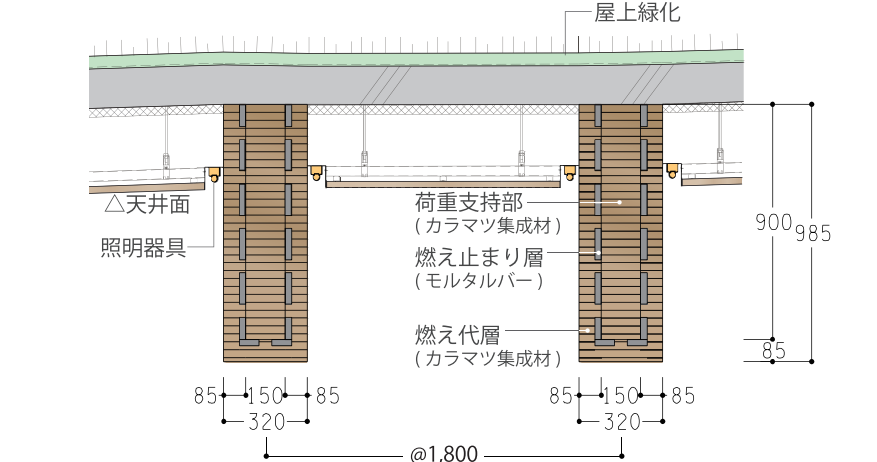


変わらない木の器 ATグループ本社 北館

愛知トヨタ自動車の80周年事業となる本社ショールーム。
近年、自動車産業においてはハイブリッド車やFCV車など環境性能を向上させる技術がクローズアップされ自動車のつくり方が大きく変わろうとしている。建築もこれに革新的な技術で応えるため、都心部において高い優位性を持つ耐火集成木材「燃エンウッド®」を用いた木のショールームをつくり未来に発信する空間とした。
名古屋市の幹線道路に面した交通量の多い交差点で、多様な木材のあり方（構造・仕上）で構成した木質空間を大規模一般商業施設（カーディーラー）において実現した。
商業施設は表層の新しさが求められ、短い時間で消費されることが多いが、架構を現しの木造とすることで、車を包む変わらない「器」として表現している。環境時代における商業施設のありかたにおいて一石を投じた。
車の「器：ショーケース」として透明度の高いガラススクリーンを構成するため、木造梁とそれを支えるミニマムな鉄骨柱によるハイブリッドな架構とした。さらには時間と共に移り変わる照明演出も加えて、存在を際立たせながらこれからも街とともにありつづける「ランドマーク」となっている。
受付カウンター等お客様とスタッフの接点には、地場産の木やタイルなど自然素材の持つ豊かな特徴を新しい技術と形態で表現することで、東海地方におけるものづくりの精神を新鮮な驚きとホスピタリティとして表出している。



照明により浮かびあがる耐火木造梁



五感を刺激する器

「木のぬくもりと車の融合」をテーマに、木の素材感を活かした暖かみあふれる心地よいショールームを目指した。
交差点角の一番重要な壁面部分には端材を利用して立体的に削り出した（NC加工）木のブロックを組み上げている。素材のもつ豊かな特徴をコンピューター制御によって可能となった新しい形態にて表現している。



街を彩る木のショーケース：[器としての建築]



車と建築の共演：[革新技術の発信]



素材の力を引き出す：[ものづくりの精神]



敷地面積	—	2,150.84㎡
建築面積	—	1,940.70㎡
延床面積	—	4,321.31㎡
構造規模	—	S造・一部木造（耐火木造梁） 地上4階
用途地域	—	商業地域 防火地域（一部準防火地域）

床（車）と天井（建築）のクロスウェーブ：[動きの可視化]